令和6年度 ダイヤ連合健康保険組合 決算報告

令和6年度の決算が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

令和6年度 収支の割合

※100%にするために、パーセントを調整している箇所があります。

一般勘定の

令和6年度決算概要

収入

（単位：百万円）

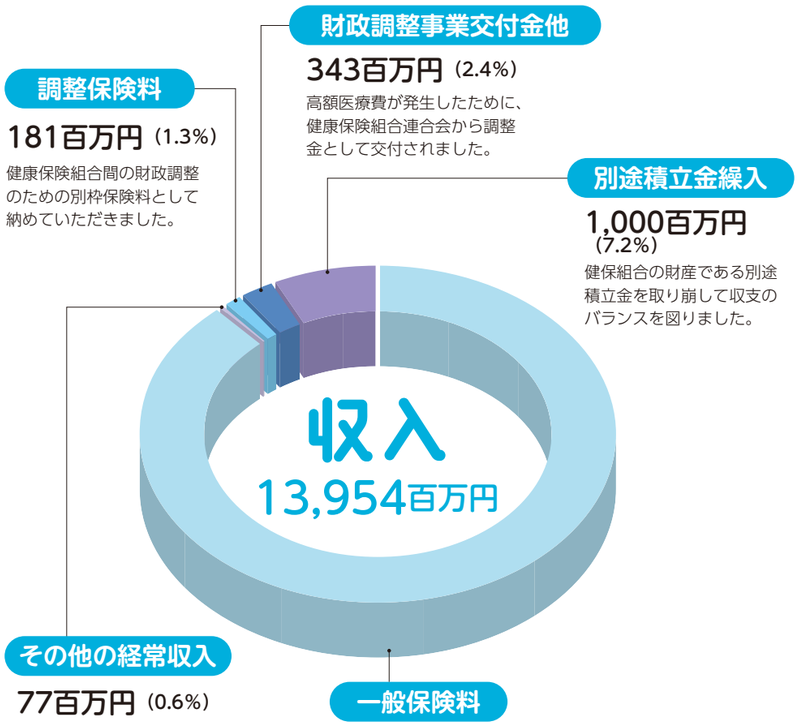
一般保険料	12,353
その他収入	77
経常収入合計	12,430
調整保険料	181
財政調整事業交付金他	343
別途積立金繰入	1,000
収入合計	13,954

支出

事務費	223
保険給付費	6,578
納付金	6,062
┌前期高齢者納付金	┌3,001
└後期高齢者支援金	└3,061
保健事業費	637
その他支出	18
経常支出合計	13,518
財政調整事業拠出金他	182
支出合計	13,700

収支

経常収支	-1,088
総収支（別途積立金繰入含む）①	254
別途積立金繰入②	1,000
①-②	-746



調整保険料

181百万円（1.3%）

健康保険組合間の財政調整のための別枠保険料として納めていただきました。

財政調整事業交付金他

343百万円（2.4%）

高額医療費が発生したために、健康保険組合連合会から調整金として交付されました。

別途積立金繰入

1,000百万円（7.2%）

健保組合の財産である別途積立金を取り崩して収支のバランスを図りました。

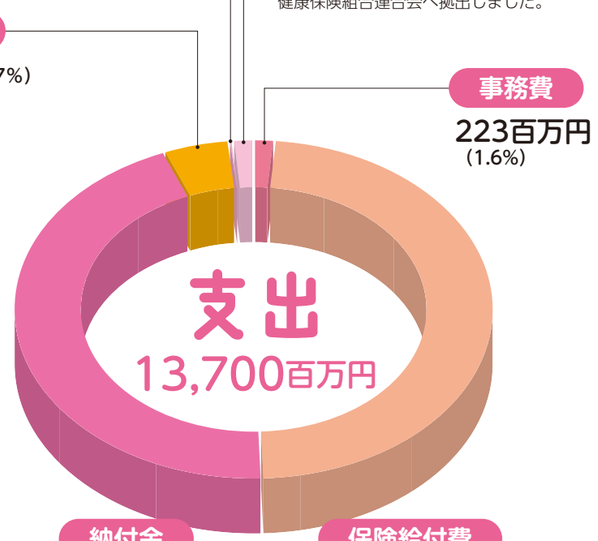
その他の経常収入

77百万円（0.6%）

一般保険料

12,353百万円（88.5%）

組合運営の大切な財源として、事業主と被保険者のみなさまに納めていただきました。



その他の経常支出

18百万円（0.1%）

財政調整事業拠出金他

182百万円（1.3%）

健康保険組合間の財政調整のために、健康保険組合連合会へ拠出しました。

保健事業費

637百万円（4.7%）

特定健診・特定保健指導や、健診費用補助など、みなさまの健康づくりを応援するための費用として支出しました。

事務費

223百万円（1.6%）

納付金

6,062百万円（44.3%）

前期高齢者医療給付のための納付金、後期高齢者医療制度への支援金へ拠出される納付金は、一般保険料の約49%を占め、財政圧迫の大きな要因となっています。

保険給付費

6,578百万円（48.0%）

みなさまが病気やけがをしたときの医療費や各種の給付金として支払いました。

基礎数値

一般勘定

項目	令和6年度実績
平均被保険者数	24,249人
平均被扶養者数	15,455人
平均標準報酬月額	368,043円
平均賞与支給月数	3.77か月
保険料率（含調整保険料率）	9.0%

介護勘定

項目	令和6年度実績
平均第2号被保険者数（40歳～64歳の本人・家族）	16,728人
平均第2号被保険者本人数（40歳～64歳の本人）	13,314人
平均標準報酬月額	414,457円
平均賞与支給月数	3.23か月
保険料率（含調整保険料率）	1.8%

介護勘定の

令和6年度決算概要

収入

（単位：百万円）

介護保険料	1,615
収入合計	1,615

支出

介護納付金	1,434
支出合計	1,434

収支

介護勘定収支	181

一般勘定

保険料収入は、前年度比282百万円増の12,353百万円になりました。

支出面は、保険給付費は前年度から横這いでしたが、納付金が増加し、経常収支は1,088百万円の赤字になりました

●令和6年度決算のポイント

被保険者数は前年度比で大きな変動がありませんでしたが、平均標準報酬月額が増加した結果、保険料収入が前年度比増となりました。

一方で支出は、高齢者医療制度への納付金が577百万円増加したため、保険料収入が増えたにもかかわらず、経常収支の赤字幅が761百万円から1,088百万円に拡大しました。

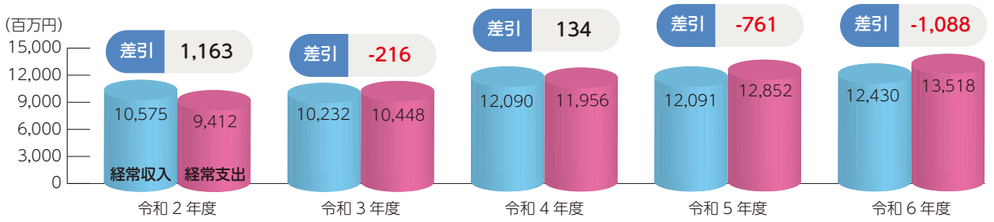
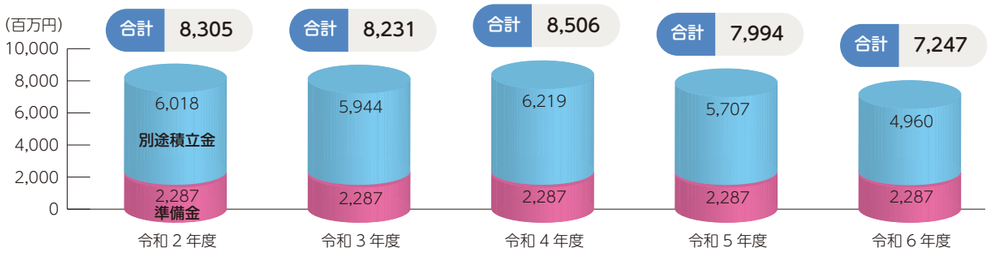
高齢者医療制度への納付金は10%以上の大幅な伸びとなっており、今後さらに増加する可能性があります。健保組合の財政や料率にも大きく影響してくるものですので、みなさまにおかれましては医療費適正化や健康管理などにご協力頂きますよう、お願いいたします。

介護勘定

保険料収入が前年度比37百万円増加した一方、介護納付金は前年度比41百万円減少しました。

総収支は前年度の103百万円から181百万円に黒字幅が拡大しました。

経常収支の推移



財産状況の推移